

北とも東京聯合会はこれを契機として、（海峽）一層日本主義を

堅持すべく態度を表明し、大阪、伊奈川等の各聯合会との

間に、表面稍々彼此相通せざるものを感じし也（此の見事行

のるゝに及つた。猶尚文政壇的には、新日本國民同盟に對

し不即不離の態度よりしか。今日未だ積極的支拂を示す

れざるが、其邊の同盟に對し、強言の希望條件を提起

して非公、尤諒解を得ざるのみにて、従来通り消極的支拂

に止まれり。本組合が將來特に積極的行動に出でんとす

るは、東より一八九三五年を契機とする日本産業界

No.